

児童クラブだより

第101号

2021年3月15日



児童クラブの生活と活動

特集

～仲間たちと暮らす日々～

春は出会いと別れの季節です。新1年生は入学を控え、初めての小学校生活と児童クラブに、ドキドキ、わくわくしていることと思います。また、進級する子どもたちも、学年が上がることで、児童クラブの中での役割が変わっていきませんが、不安や緊張を感じながらも楽しみにしているようです。

児童クラブの生活と活動の中で、子どもたちは学年をこえ、一緒に遊びや様々な活動を通し、お互いに育ち合っていきます。子どもたちが安全で安心して過ごせるように、そして楽しく元気に、心ゆたかに暮らせるようにしています。

今号では、児童クラブの1年間の生活や活動についてお伝えします。

表紙：海の子児童クラブ

※掲載写真は、撮影のためにマスクを外していることがあります。



特集 児童クラブの生活と活動

～仲間たちと暮らす日々～

自由遊び

児童クラブの子どもたちは学校から帰ってくると、誰かと遊ぶ約束をしていなくても、子ども同士が好きなことで一緒に過ごすことができます。また、遊んでいる様子を近くからながめたり、1人でゆったりしたい子も、まわりに友だちがいることで、安心して過ごせます。

室内遊びは、おもちゃやごっこ遊び、本読み、工作をしたり、外遊びは、公園や校庭に出かけて、ブランコや鉄棒、なわとび、フリスビー、鬼ごっこ、ドッジボール、フットベースをしたり、様々な遊びが広がります。

児童クラブには、遊びやスポーツの体験を通して、やり方やコツを教えてくれる上級生、気持ちを分かち合い、励まし応援してくれる友だちがいます。そして、遊びの中でみんなが力を合わせ、目標に向かっていくことで、勝つ喜びや負けた時の悔しい気持ちを味わい、友だちの応援に支えられ頑張る気持ちや、信頼する気持ちが育まれます。

さくら児童クラブ



こくま児童クラブ



おやつ

児童クラブのおやつは、みんなで楽しく食事する「食育」や夕食までの大切な「補食」として、栄養バランスや季節のものを取り入れ、食事のマナーを身につけ、生活技術も習得する重要な時間です。

苦手なおやつが出ることもあっても、となりの子の「これおいしい!」という言葉やみんなの笑顔に誘われて、食べられるようになります。

コロナ禍で「黙食」という言葉が聞かれる状況でもありますが、「おいしい!」が連鎖するのも児童クラブのおやつの時間の良いところです。



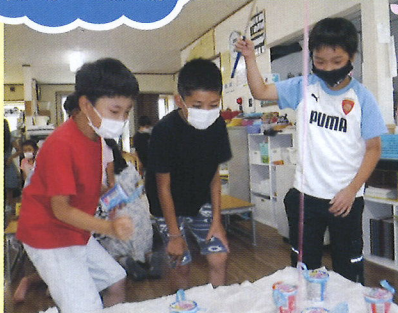
児童クラブの生活

通常授業日	時間	学校休業日
	8:00	クラブ開所
	9:00	学習時間
	10:00	自由活動
	12:00	昼食
クラブ開所	12:30	
	13:00	
自由活動	14:00	自由活動
おやつ/当番活動	15:00	おやつ/当番活動
自由活動	16:00	自由活動
帰宅準備	17:00	帰宅準備
延長指導(登録児童)	18:00	延長指導(登録児童)
クラブ閉所	19:00	クラブ閉所

※一日の生活はクラブによって多少異なる場合があります。

行事・活動

ひだまり児童クラブ



日頃の遊びや生活を発展させた発表や表現の場として、入所歓迎会や児童クラブまつり、お楽しみ会、誕生会、季節の行事等があります。行事の前には、話し合いや準備、本番に向けた練習を子どもたちが主体的に関わり取り組んでいきます。子どもたちは、様々な意見を出し合うことで、想像以上のものを生み出せます。しかし、計画通りに進まないことや意見が合わず投げ出したくなることもありますが、みんなで乗り越え準備を進め、いざ本番! 頑張る気持ちや挑戦することで、自信と達成感が生まれます。そして、子どもたちの仲間としてのつながりが強くなっていきます。

異年齢の子どもたち

はすいけ児童クラブ



児童クラブは、異なった年齢の子どもたちがともに生活する場です。

出会った頃は、同じ学年の子どもたちとの関わりが多かった1年生も、児童クラブの活動や遊びを通して、上級生との時間が少しずつ増えていきます。一緒に遊び、教え合い、困った時に助け合った経験を積み重ね、お互いに優しさや思いやり、社会性を学びます。上級生は、相手に合わせた活動を提案し慕われることで、お手本になるよう行動ができ、憧れの存在になっていきます。

仲間と一緒に

児童クラブでは、子どもたちは遊びや生活、様々な活動を通して、コミュニケーション力を磨いていきます。時には、けんかをして気まずくなることもあります。対人関係を学ぶ大切な機会であり、いつの間にかまた一緒に笑い、遊び合える仲間になっていきます。

日々の暮らしの中で、子どもたちが心もたくましく体も大きくなっていく様子を感ずります。児童クラブには、自分らしい役割を見つけ活躍する場があります。できないことができるようになることだけが成長ではなく、自分にも良いところがあり自信を持てること、仲間を助けたり応援できることが大切です。子どもたちが仲間を想い、仲間を大事にする気持ちが育ち合い、児童クラブの生活や活動が「宝物の時間」になればと思います。

みらぞう君が児童クラブにやってきた 11



新年の抱負に挑戦「絵馬・スタンプ作り」の巻

～ありんこ・てんとう虫児童クラブ
(溝の沢小学校区)～

2021年になり「新年の目標を書く」とのことで、みらぞう君も遊びに行きました。「目標は何にしようかな…」と悩みながらも、子どもたちが今年頑張ることを自分で考えて、絵馬のような紙に書いていました。目標を書いた紙には、のりパネ(スチロール板)というものに自分の名前の一部を彫り、オリジナルのスタンプを作って押しました。コロナ禍の生活による影響か、「風邪をひかない」という目標や「習い事をがんばる!」という目標が多く見られました。「何か目標を持つことは大変だけど、大切なことだなあ」とみらぞう君も今年目標を書き、子どもたちに手伝ってもらいながら、スタンプも作りました。



みんな、待っててね～♪



交流「百人一首」の巻

～どろんこ児童クラブ・はすいけ児童クラブ・第2どろんこ児童クラブ
(鶴洋小学校区)～

お正月恒例、百人一首交流があるとのことで、今回はリモート取材を行ったみらぞう君。毎年近隣6つの児童クラブで行っている行事ですが、今年は、新型コロナウイルスの影響で、鶴洋小学校区3つの児童クラブの希望者で、楽しく交流しました。

百人一首といえば、マンガ「ちはやふる」で有名になり映画化もされています。その影響で、「千早ぶる神代もさかず龍田川からくれなゐに水くくるとは」(在原業平朝臣)の札は、みんなが取りたい様子で、今か今かと詠まれるのを待っていました。いざ、その札が詠まれると、みんなで一斉に札を取りにかかります。札を取れた子は「やったー!」と、とても嬉しそうにしていました。



子どもたちの中には、それぞれのクラブにクインと呼ばれる強者(名人)がいて、上の句の途中まで聞けば札が取れていたのので、何回も練習を重ねた結果なんだなあ、みらぞう君は感心しました。

みらぞう君、次はどこ児童クラブに!?
お楽しみに♪



報告

児童クラブ交流会 代替全体事業

みんなつながるプロジェクト 「あそびを止めるな」

藤沢市内の児童クラブを6つのブロックに分けて、児童クラブ交流会に代わる事業を企画しました。各ブロックの担当者に、「みんなつながるプロジェクト」の活動内容について、話を聞きました。

A ブロック

1発チャレンジ!

Aブロックは、9つの児童クラブごとに、けん玉やコップ積み等の共通種目を行いました。どのくらい成功したかをそれぞれ共有し、一体感と達成感を味わうことができる内容にしました。10人1組や全員で行う種目があり、1つひとつに「緊張する〜」「やった!」等の声があがりました。子ども1人ひとりにスポットライトが当たる楽しい時間を過ごすことができました。吉原(いるか)



1発チャレンジ!

B ブロック

もしかめマラソン

Bブロックは、10の児童クラブごとに、けん玉のもしかめの技で「世界1周企画」を行いました。もしかめの回数により世界地図上を旅するもので、1ヶ月間の取り組みとなりました。他の児童クラブの結果も随時報告があり、子どもたちはやる気スイッチをオンにして、『全集中』で挑戦しました。応援する子どもたちの声にも熱が入り、とても盛り上がりました! 北澤(浜見)



もしかめマラソン

C ブロック

みんなで踊ろう! Let'sキュン♡ダンス

Cブロックは、10の児童クラブごとに、「Let'sキュン♡ダンス」を踊り、その映像を撮影・編集して1本のDVDにまとめました。1つのものを協力して作り上げ、子どもたちの頑張っている姿を互いに見ていくことで、みんなに元気を届けたい! 子どもの成長を、互いに喜び合いたい! と思っています。後出(かわせみ)



みんなで踊ろう! Let'sキュン♡ダンス

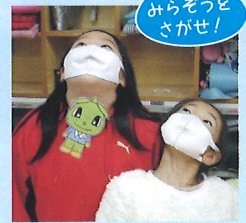
正式名称は、「ふじさわファンクラブ」応援メンバーによる「キュンとさせるこのまちで。」Let'sキュン♡ダンスとなります。



D ブロック

みらぞうをさがせ!

Dブロックは、9つの児童クラブごとに、遊びや行事の様子を撮影し、写真の中に一緒に写っている「みらぞう」を探す【みらぞうをさがせ!】という冊子を作りました。子どもたちの楽しそうな様子や、それぞれの児童クラブで、流行っている遊びや雰囲気を見ることができます。「あっ、ここにみらぞうがいた!」、写真を見ながらゲームもする楽しみがあるので、子どもたちに大人気の冊子となりました。山本(たんぼぼ)



みらぞうをさがせ!

E ブロック

みんなつながる2020 ~モザイクアート~

Eブロックは、9つの児童クラブごとに、子どもたちが遊んでいる様子の写真を使用し、モザイクアートを作成しました。その後、完成したモザイクアートのデザインを使用して下敷きを作り、子どもたちに配付しました。とてもかわいくて、素敵な作品ができあがったと思います。子ども・保護者・指導員、みんなにとって良い記念になりました。村越(コスモス)



みんなつながる2020 ~モザイクアート~

F ブロック

けん玉でつながろう!

Fブロックは、9つの児童クラブごとに、1つの児童クラブ30秒のリズムけん玉や技を披露する動画をそれぞれ撮影し、編集してまとめました。動画のほかに、記念品として贈呈用のけん玉ペイントを行い、それぞれの児童クラブに展示しました。小野寺(ひまわり)



けん玉でつながろう

編集後記

今年度は、児童クラブの様々な行事や活動が中止・変更になり、子どもたちと「できることを探してやってみよう」の工夫と挑戦の年となりました。児童クラブだよりは100号を迎え、タイトルも新しくなりました。藤沢の児童クラブの子どもたちやご家族の皆様にも、楽しく親しみ、ご覧いただけるよう、今後も担当者一同、頑張ります。

上村(麦の子)、高橋(てんとう虫)、鶴田(風の子)、藤原(こぐま)



公益財団法人

藤沢市みらい創造財団

〒251-0054

藤沢市朝日町10-8 藤沢青少年会館内
放課後児童育成課

TEL 0466-21-6709

FAX 0466-28-0009

URL <https://www.f-mirai.jp>

E-mail jidouclub@f-mirai.jp

